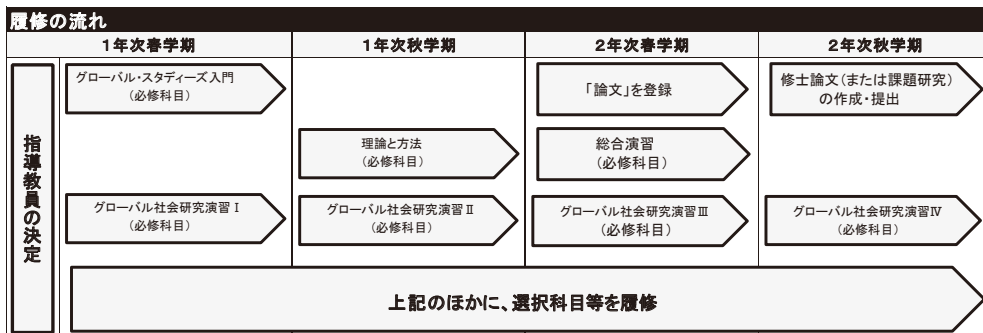


【7】前期課程の履修の流れについて

■履修の流れサンプル図（例：グローバル社会研究クラスター）



- ① 指導教員について
指導教員は、入学後のオリエンテーション期間中にオフィスアワーを実施し、希望する教員と面談し指導教員届（所定用紙）を提出後、決定する。
- ② クラスター毎の「演習Ⅰ」・「演習Ⅱ」・「演習Ⅲ」・「演習Ⅳ」は、指導教員のクラスを登録すること。
指導教員は、入学後のオリエンテーション期間に決定するが、その後、研究テーマの変更等で指導教員の変更を希望する場合は、所属するクラスターの教務担当または研究科教務主任（P.222 参照）に申し出る。
- ③ 2年次春学期の科目登録の際には、一旦、全員「修士論文」を登録すること。
(博士後期課程への進学を希望する場合は、修士論文必修)
- ④ 修士論文あるいは課題研究による修了方法の希望について、「修士論文・課題研究選択届」を、2年次の7月末日（9月修了の場合は翌年1月末日）までに事務室に届け出ること。
(いずれの場合も、締切日が土日の場合、前日もしくは前々日の金曜日までとする。)
- ⑤ 「修士論文・課題研究題目届」を、2年次の10月末日（9月修了の場合は翌年4月末日）までに事務室に届け出ること。(いずれの場合も、締切日が土日の場合、前日もしくは前々日の金曜日までとする。)
- ⑥ 修士論文、課題研究は、2年次の1月に提出する（9月修了の場合は6月）。(P.21～の「前期課程の修了と学位の取得について」を参照)
- ⑦ 特殊研究A・B・C・Dについて
毎年度、様々な最新のトピックスを扱う講義を開講している。
ただし、一年限りの講義となるケースもあるので、履修の際は注意すること。

⑧ 本学他研究科科目、本学高等研究教育院設置科目、他大学科目について

本学他研究科科目（※1）、本学高等研究教育院設置科目のうち本研究科が定める科目（※2）、関西四大学大学院単位互換科目（P.39 参照）及び外国協定大学における履修科目を、修了単位に算入することができる。ただし、「履修方法・修了要件」（P.18・20）に定める条件を満たしたうえで、算入できるものとし、合計10単位を超えないものとする。登録の際には指導教授とよく相談すること。

※1 ただし、登録については当該科目の開設研究科が他研究科生に履修を認めている科目に限る。

※2 詳細は⑬を参照。

⑨ 入学前修得科目について

教授会が教育上有益と認めるときは、入学前に大学大学院において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を本大学院において修得したのものとして、10単位を超えない範囲で認定することができる。

※ ただし、2021年度以降は15単位を超えない範囲で認定することができるものとする。

⑩ 算入できる単位数の上限について

⑧及び⑨で修得した単位について、合計10単位を上限として、修了単位に算入できる。

※ ただし、2021年度以降は合計20単位を上限として、修了単位に算入できるものとする。

⑪ 学部科目の履修について

指導教員が必要と認めた場合は、学部科目を登録履修することができる場合がある。

ただし、修了単位としては認めない。なお、必ず事前に当該科目の設置学部事務室に相談すること。

⑫ 免許・資格について

グローバル・スタディーズ研究科で取得可能な教員免許の専修免許状は、「中専免（社会）」「高専免（公民）」である。（専修免許状は、一種免許状を取得する者のみ取得可能）詳細は「免許・資格関係履修要項」を参照すること。

教職課程履修希望者は、免許資格課程センター事務室免許資格係（良心館1階今出川キャンパス教務センター内、TEL 075-251-3208）に相談すること。

⑬（※2022年度以前生）博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」（プログラム略称：GRM）の修了を目指し修めた単位（GRMプログラムの修了を“希望する”学生用の科目コードで登録した単位）は、本研究科の修了単位としてカウントされないので十分に注意すること。

履修するにあたっては、博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」について（P.82）及び博士課程教育リーディングプログラム「グローバル・リソース・マネジメント」履修要項を熟読すること。

（※2023年度以降生）本学高等研究教育院設置科目のうち、履修可能な科目はすべて認定の対象となる。

⑭ 3年目以降の学費について

2年以上在学（休学期間は含まない）し、修了に必要な単位を修得した場合は、次の学期から授業料及び教育充実費が半額となる。ただし、学部又は大学院の授業科目を履修する場合および長期履修学生については適用されないので注意すること。